

# 令和6年度 研究概要

## 1 研究主題

思考力・判断力・表現力を高め合う子どもの育成  
～各教科等の「見方・考え方」を働かせた授業づくりの実践から～

## 2 主題設定の理由

### (1) 本校の教育目標から

本校では、「自らつかみ、判断し、動く子どもの育成」を教育目標とし、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を行うことを目指している。

### (2) これまでの校内研究から

一昨年度から、「思考力・判断力・表現力を高め合う子どもの育成」という研究主題のもと、「自分の考えをもち、粘り強く取り組むことができる子」「相手に伝わるように表現できる子」「学んだことをふり返り、次へとつなぐことができる子」を目指す子ども像としてきた。昨年度までの2年間は、教科を算数科に絞り、数学的な見方・考え方を育む算数科の授業づくりの実践について研究を行った。授業づくりを進める上で、「児童につけたい力は何か」「働かせたい数学的な見方・考え方は何か」ということや、系統性などを教師が意識することができるようになり、算数科の授業が変わりつつある。しかし、児童自らがつけたい資質・能力を実感し、表現する姿にはまだ達していない。

### (3) 児童の実態から

本校の全校児童数は29名であり、複式学級が2学級、単式学級が2学級、特別支援学級が1学級ある。小学校が世界遺産の町の中に位置しており、ガイドの会の方々や石見銀山資料館の館長さんなど、様々な分野の地域の方々と関わりながら銀山学習に取り組んでいる。また、中学年からは落語指導が行われ、とびつきり寄席や大森っ子発表会で発表するなど、大勢の前で発表する経験も積んでいる。いずれの活動にも常に意欲的に取り組み、知識・技能を習得することができてきている。

昨年度の学力調査（全国、県）、CRTの結果からも、学習意欲は高めであり、知識・技能は習得できている児童が多いという結果が出た。反面、思考力・判断力・表現力にはまだ課題が見られることが分かった。自分の考えについて話しながら説明する力はついてきつつあるものの、複数の情報や既習事項とつなげたり、順序立てたりして説明文を書く力について、指導を改善していく必要がある。

このような実態から、今年度は教科を絞ることなく、教科等横断的な視点で授業改善に取り組むことで児童の思考力・判断力・表現力を高めることが望ましいと考え、本主題・副題を設定した。

### 3 めざす子どもの姿

- ・ 各教科等の「見方・考え方」を働かせながら思考・判断・表現する子
- ・ 身に付けた力を実感できる子

### 4 主題の捉え

「各教科等の『見方・考え方』とは、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方（H29 小学校学習指導要領総則編）」のこと。

「思考力・判断力・表現力を高め合う」とは、「各教科等の『見方・考え方』を働かせ、協働的な学びの中で互いの力を高め合う」こと。

### 5 実践の内容

#### (1) 教師の授業力の向上 ～能力ベースの授業づくりの確立～

- 授業づくり…・ 単元ごと、授業ごとの児童に身につけたい資質・能力、働かせたい教科等の「見方・考え方」を明確に
  - ・ 児童が身につけた資質・能力を実感することのできる授業づくり
- 授業力向上…・ 校外研修会への積極的な参加、校内研修の推進を図る
  - ・ いつでも教員が互いの授業を見合うことのできる環境づくり

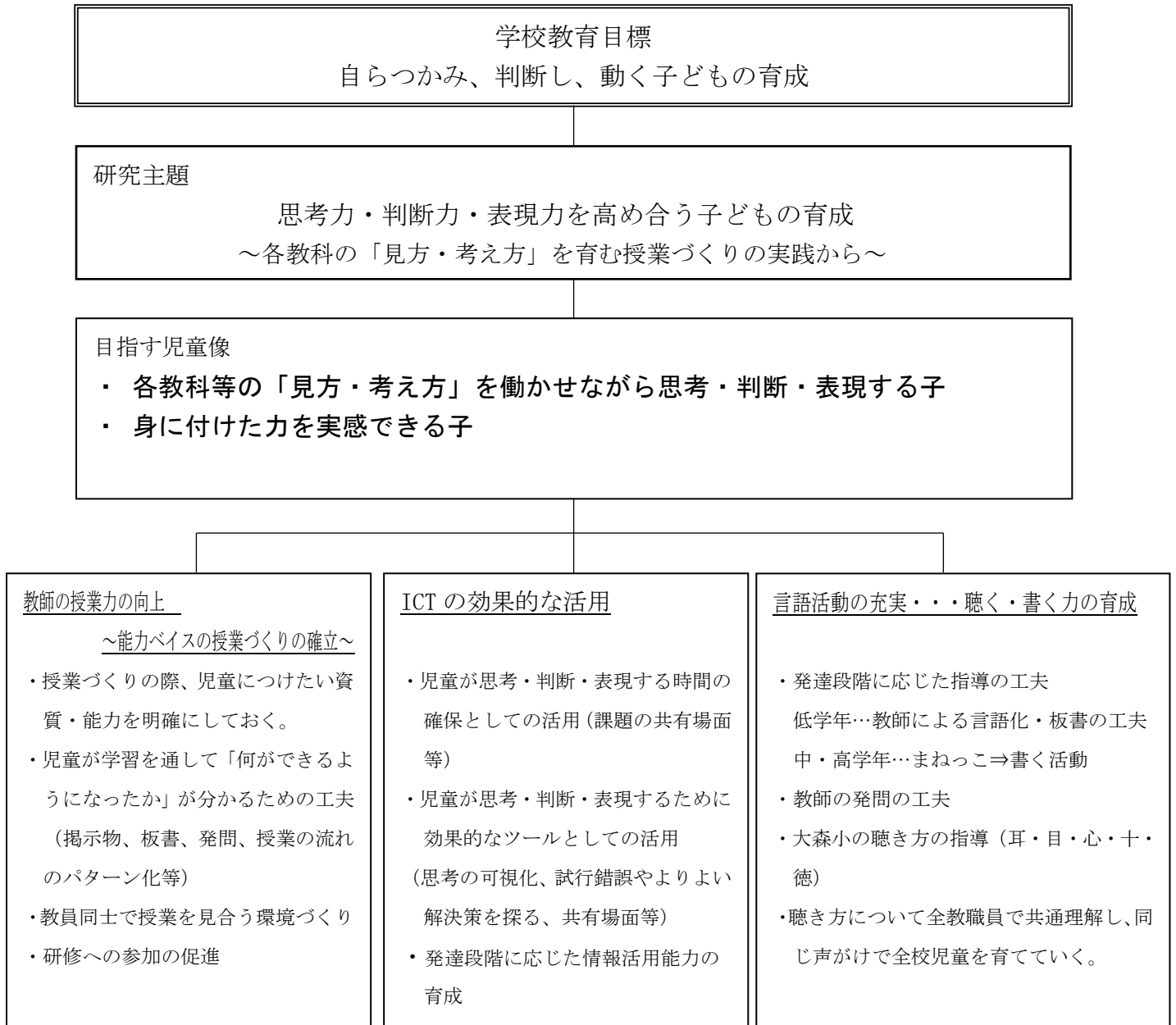
#### (2) ICTの効果的な活用

- 児童が思考・判断・表現する時間の確保としての活用（課題の共有場面等）
- 児童が思考・判断・表現するために効果的なツールとしての活用（思考の可視化、試行錯誤やよりよい解決策を探る、共有場面等）
- 発達段階に応じた情報活用能力の育成

#### (3) 言語活動の充実・・・聴く・表現する力（書く力）の育成

- 聴く力…
  - ・ 大森小の聴く力の型づくり（耳・目・心・十・徳）
  - ・ 全教職員で全校児童に同じ声かけができるようにしていく。
  - ・ 教師の発問の工夫（問い返し等）
- 表現する力…・ 低学年…児童の操作やつぶやきを教師が言語化し、板書で整理する。  
→教師自身がモデルを示す。
  - ・ 中・高学年…「まねっこ」での説明から、書く活動までを一連の流れに  
→順序立てたり、各教科特有の言葉を使って短く整理したりして説明を書くことを繰り返す。
  - ・ 身に付けた力を児童が自ら振り返ることのできるまとめ・ふりかえりの工夫

## 6 研究の全体構想



## 7 研究計画

4月 研究概要起案

5 / 2 2 第1回校内研究会 「授業と家庭学習をつなげる」

6 / 2 1 5・6年総合的な学習の時間相談会①

6 / 2 4 第2回校内研究会 「国語の『見方・考え方』を働かせた授業づくり」  
指導案審議（園山）

7月 2年研究授業（園山）

8 / 6 指導案審議（5・6年総合 大羽）

9 / 2 0 5・6年総合的な学習の時間相談会②

10 / 1 6 授業づくり講座 教材研究会（大森小）

10 / 2 8 第3回校内研究会 「教材研究会を受けて改善案を考える」

11 / 2 5 第4回校内研究会 「授業研究会に向けて 模擬授業など」

12 / 1 1 授業づくり講座 授業研究会（大森小）

1 / 2 7 第5回校内研究会 「未定」

3 / 3 第6回校内研究会 「研究のまとめ・ふりかえり」

※1・3・4・5・6年、やまぶき学級の研究授業（指導案審議、研究協議）を入れる。